

<b>出張報告書</b>	幹 事 長 印	経 理 責 任 者 印

令和2年8月20日

幹事長

重光 俊則 殿

出張者氏名 文野 慎治 印

下記のとおり報告します。

1. 出張先 京都経済センター研修室

2. 出張日時 令和2年8月4日（火）

3. 出張用務（宿泊を要する場合はその事由）

地方議会総合研究所「住民が読みたくなる議会広報紙の作り方」セミナー受講

4. 旅費等（1人）

[1] 研修費 25,000 円

[2] 旅費 5,300 円

JR 日根野～京都（往復乗車券） ¥2,880

JR 日根野～京都（往復はるか特急券） ¥1,980

京都市営地下鉄 京都～四条（往復乗車券） ¥440

総計 30,300 円

5. 報告

地方議会総合研究所「住民が読みたくなる議会広報紙の作り方」

8月4日 10:00～13:00	議会の存在感を高める広報力
8月4日 14:00～17:00	スキルアップ×広報クリニック

<詳細は別紙>

出張報告書別紙-1

日時	令和2年8月4日 10:00～13:00 14:00～17:00
タイトル	住民が読みたくなる議会広報紙の作り方
講師/	エディター・広報アナリスト 吉村 潔

☆ セミナー概要について

講師は、上場企業の広報を中心に大学広報、会員誌などの制作に長年携わり、日本広報協会広報アドバイザー。全国広報コンクール審査委員。町村議会広報表彰審査委員の経歴。

住民が読みたくなる議会広報紙の作り方について、経験をもとに講演され、実際の参加者の議会広報についてのクリニックをして頂き、改善点についてもお指導して頂いた。

☆ 議会の存在感を高める広報力～読者に支持される広報紙づくりのポイント～

1 議会広報の現況と課題

- ① なぜ、読まれないのか。
- ② 広報公聴は「コト」づくり。
- ③ 広報公聴戦略の策定。
- ④ 手に取りたくなる表紙。
- ⑤ 議案審議の広報。
- ⑥ 予算決算の広報。
- ⑦ 委員会活動の広報。 他

2 リニューアルのポイント

- ① 表紙デザインの着眼点。
- ② 読む気になる特集を組む。
- ③ 定例会報告の発想を変える。
- ④ 住民参加の広報を強化
- ⑤ 電子媒体を活用。

3 参考にしたい事例紹介

- ① 注目を集める議会広報紙。
- ② 閲覧したくなるWEBサイト

☆ スキルアップ×広報クリニック～議会だよりの制作ノウハウと診断～

1 企画編集からデザインまで

- ① 企画の切口、情報の編集。
- ② 取材と文章のまとめ。
- ③ レイアウトのポイント
- ④ 効果的な色づかい
- ⑤ 写真撮影の基本

2 クリニック

- ① 評価ポイント
- ② 改善点の提案
- ③ 今後の方向性。 他

\*以上、上記の内容を、多数の資料を確認しながら講義を進められた。

☆ 「くまとり議会だより」がクリニックで指摘・指導頂いた点

- ① 予算・決算を報告するページは、町の広報と重なる。議会の視点から知らせ方の工夫が必要。事業を取り上げる。
- ② 議員の名前にはルビをふる。
- ③ 討論のページ、会派一段ずつ掲載しているが、文章の初めに見出しを付ける。
- ④ 議員の質問掲載の見出しは、「～について」は止め、質疑を細かく拾って表現する。
- ⑤ 2回に1回くらい、住民参加の紙面を意識し、顔が見える紙面づくりを。

<まとめ>

- 広報紙制作のプロの目から見たアドバイスは重みがあり、また、他自治体議会の広報紙の現状や、指摘事項は熊取町議会でも参考にすべき点多々有り有意義なセミナーであった。
- 吉村先生のセミナーは、私自身2度目の受講であった。その時のクリニックでは、当時の「熊取町議会だより」の評価は散々であった。まず、他議会の広報紙はカラー化されていて、「取町議会だより」は全ページがモノクロであり、コンクールに出せる状態ではなかった。また、「熊取町議会だより」は議会報告会の報告資料の役目を負っており、議会での審議の正確性を一番重視していたので、文字数の多さも指摘された。
- これらの指摘以降、2回のリニューアル、表紙・裏面のカラー化を経て臨んだ今回のセミナーでは、一段階レベルの上がった指導・助言を頂いたと思っている。
- 今回セミナーに参加して一番良かった点は、広報委員会委員が揃って参加できた事だと思う。経験の長い委員も初めての委員も、現時点での「熊取町議会だより」をさらに「住民が読みたくなる議会広報紙」にするための問題点と改善策を示してもらえ、これからの発行にチームワークを発揮して編集作業に励む指針を共有できた事である。
- 現在編集作業中のN051から、このセミナーで得た改善策を講じて行きたい。

議員・職員のための

# 住民が読みたくなる議会 広報紙の作り方 in 東京・京都

講師 吉村 潔

【エディター・広報アナリスト】

上場企業の広報を中心に大学広報、会員誌などの制作に長年携わる。日本広報協会・広報アドバイザー。全国広報コンクール審査委員（広報紙部門・写真部門）。町村議会広報表彰審査委員。市町村アカデミー（行政広報・議会広報）講師。著書に「実践・広報紙づくり」「広報ハンドブック～メディアづくりのノウハウ～」等がある。「月刊広報」（日本広報協会）に「議会広報の改革はどこまで進んできたか」（2014年）、「動く議会・変わる広報」（2018年）を連載。「地方議会人」（中央文化社）で「市町村議会広報クリニック」を隔月担当。

7/14(火) 10:00~13:00 東京

8/4(火) 10:00~13:00 京都

議会の存在感を高める広報力  
～読者に支持される広報紙づくりのポイント～

## 1. 議会広報の現況と課題

- (1)なぜ、読まれないのか
- (2)広報広聴は「コト」づくり
- (3)広報広聴戦略の策定
- (4)手にとりたくなる表紙
- (5)議案審議の広報
- (6)予算・決算の広報
- (7)委員会活動の広報 他

## 2. リニューアルのポイント

- (1)表紙デザインの着眼点
- (2)読む気になる特集を組む
- (3)定例会報告の発想を変える
- (4)住民参加の広報を強化
- (5)電子媒体を活用

## 3. 参考にしたい事例紹介

- (1)注目を集める議会広報紙
- (2)閲覧したくなるWEBサイト

7/14(火) 14:00~17:00 東京

8/4(火) 14:00~17:00 京都

スキルアップ×広報クリニック  
～議会だよりの制作ノウハウと診断～

## 1. 企画・編集からデザインまで

- (1)企画の切り口、情報の編集
- (2)取材と文章のまとめ
- (3)レイアウトのポイント
- (4)効果的な色づかい
- (5)写真撮影の基本

## 2. クリニック

- (1)評価ポイント
- (2)改善点の提案
- (3)今後の方向性 他

\*クリニック希望の場合、セミナー開催の10日前迄を目安に議会広報紙を2部、「地方議会総合研究所」宛にお送り下さい。